

10月1日から

# ゴミの分別区分が変わります

市では現在、新清掃工場を建設中です。新清掃工場の稼働に合わせ、ごみの再資源化と減量を推進するために、ごみの分別区分が統一されます。



建設が進む新清掃工場

いずみ清掃工場では、市内で発生する全てのごみを処理する能力がないことから、下総・大栄地区で発生するごみは、合併前と同様に香取広域市町村圏事務組合の伊地山クリーンセンターで処理されています。このため、下総・大栄地区とそれ以外の地区で、ごみの分別区分が異なっています。

現在建設中の新清掃工場が稼働すると、全てのごみを処理することが可能となります。そのため、市内全体でごみの分別区分を統一することが必要となります。

## 分別区分の見直しで再資源化を推進

市では、ごみの分別区分の統一に合わせて、今までの分別区分では資源にできなかったごみの再資源化と焼却処理するごみの減量を目的に、分別区分の見直しを行いました。

その結果、新清掃工場が稼働する10月1日から分別区分を変更し、統一することとなりました。変更後の分別区分は次の通りです(3ページ図)。

- 新聞・雑誌・ダンボール
- 紙パック
- 雑がみ
- 衣類・布類
- 燃やせるごみ
- プラマークのごみ
- ペットボトル
- ビン・カン・ガラス
- 金物・陶磁器類
- 有害ごみ
- 粗大ごみ

## 指定ごみ袋が変わります

分別区分の変更に伴い、指定ごみ袋が変更されます。市では変更を円滑に進めるため、新しい指定ごみ袋への移行期間を設ける予定です。

指定ごみ袋を使用して回収：「燃やせるごみ」「プラマークのごみ」「ペットボトル」「ビン・カン・ガラス」「金物・陶磁器類」  
指定ごみ袋を使用しない回収：「新聞・雑誌・ダンボール」「紙パック」「雑がみ」「衣類・布類」「有害ごみ」「粗大ごみ」

## ごみ収集日も変更

ごみの分別区分の変更に伴い、収集日も変更されます。現在の収集日を基本に、燃やせるごみは週2回、そのほかのごみは月2回の収集となります。

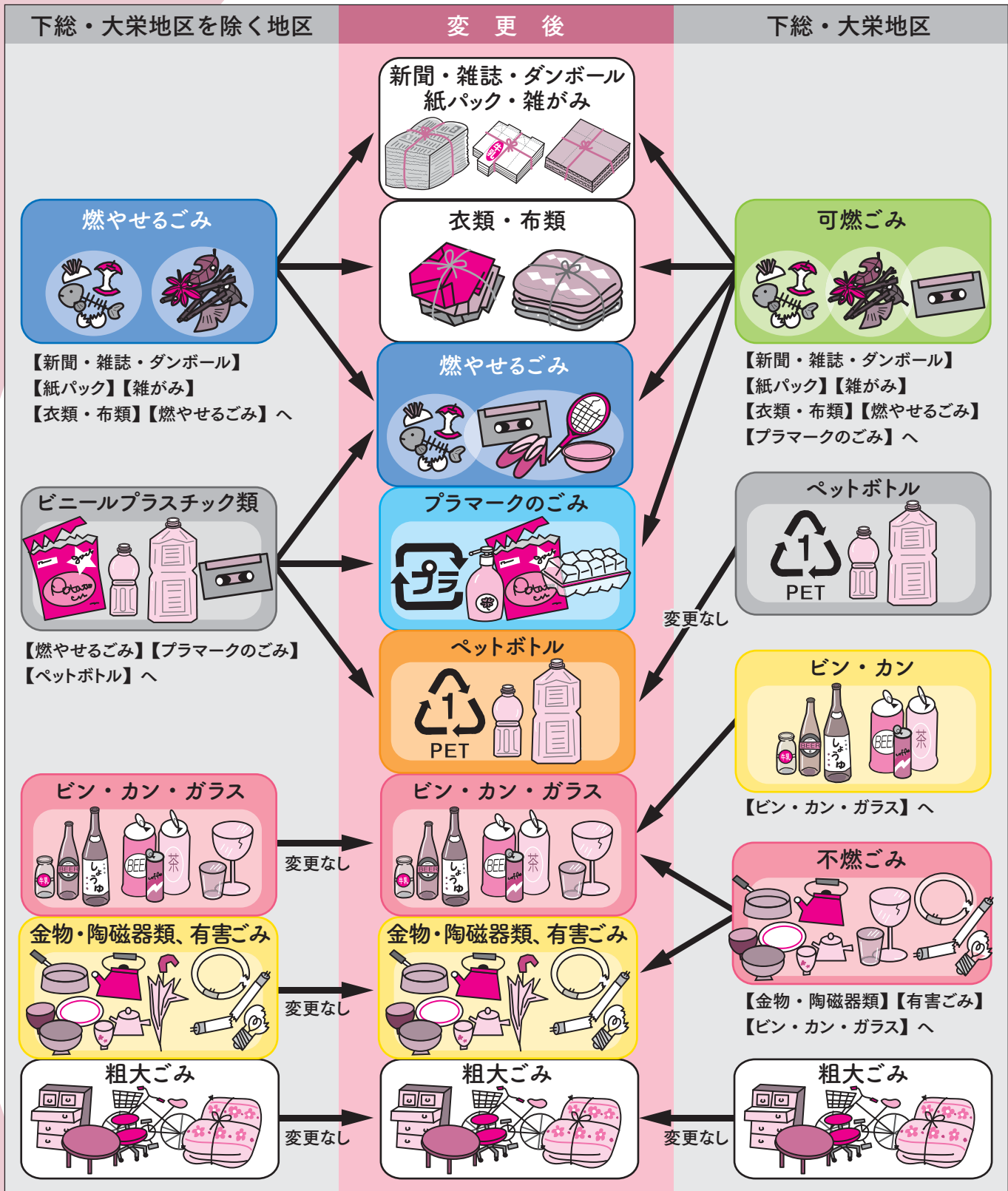
## ごみの分別区分変更の効果

新しい分別区分に変更することで、再資源化の推進や焼却量の減少が見込まれます。

分別区分の変更などの詳細については、今後パンフレットを配布したり、広報なりたや市ホームページなどでお知らせしたりする予定です。

市内のごみの分別区分の統一とごみの再資源化の推進のために、市民の皆さんのご協力をお願いします。

※くわしくはクリーン推進課(☎20-1530)へ。



### 分別区分変更に伴う資源物回収量の想定(リサイクル運動を含む)

	平成22年度実績	分別区分変更後
紙類	2,164t	5,512t
衣類・布類	84t	405t
プラマークのごみ	0t	1,393t
ペットボトル	151t	422t

\*「ビン・カン・ガラス」「金物・陶磁器類」「有害ごみ」の回収量には変更ありません



回収されたペットボトル